



2024年9月  
第753号

日本基督教団 平塚教会  
発行人 平塚教会  
編集人 中山洋司  
〒254-0045 平塚市見附町6-18  
電話 ○四六三(32)八八三一



# 鎮守の森はすたれない

平塚教会牧師 北川一明

エルサレムよ、誰がお前を憐れみ／誰がお前のために嘆くであろうか／誰が安否を問おうとして立ち寄るであろうか

(エレミヤ一五・5)

現代世界は物質的にどんどん豊かになっています。反比例して人々の心の問題が大きくなっています。心の問題は宗教が対応してくれるので、現今、宗教の必要性、重要性は増しています。ところが世は宗教の必要性、重要性を理解しません。まともな宗教では、すぐには答えが得られないからです。

世俗の自己啓発プログラムなどは、心の問題に対してハウツー物のように簡単に答えを提供します。その分、効果も一時的、表面的です。一方伝統的な宗教は、敬虔感情を時間をかけて涵養・陶冶することで初めて解決が得られます。効果は深く心にしみ込み永続的

すが「お手軽」とはいえませんが。心理カウンセリングはハウツー物と伝統的な宗教のちょうど中間でしょう。長期的な改善や、相談者自身の解決能力を高めます。ただ人の心の根っこをじっくり育てるという面では伝統的な宗教にはかなわないと私は考えています。課題に対して即応することで、世は物質的に繁栄しました。そのため世の人々は時間をかけてじっくり取り組む姿勢を失って、心の問題が大きくなりました。それなのに、世は心の問題に対しても直ちに対応できるプログラムを求めます。そこで宗教でも簡単に上辺の答えを与える新興宗教やプロテスタント新教派が台頭し、それらが宗教の評判を落としています。

伝統的な宗教も、目先の楽しみやハウツー的な解決で人を集めつつ、集まった人たちにはじっくり敬虔感情を涵養・陶冶させれば合理的に見えます。しかしそれで宗教の良さが発揮されるかは微妙です。

無料配布用の小型新約聖書で「折にかなう助け」と題したガイドがあるのを見たことがあります。悲しみて心がふさぐ時、病気または苦痛の時：など「助けが必要な時、ここを読んでください」という、即効性を

## 目次

鎮守の森はすたれない

牧師 北川一明 …1

平塚教会で開かれる

研修会・講演会の案内 …4

園庭がいっぱいに

…3

編集後祈

…4

謳うものでした。「悲しんでいる人」が解決テクニクを求めて聖書を開くと、「悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる(マタイ五・4)」と出てくる仕掛けです。聖書に対して幻滅するだけではないかと危惧しました。

昔は悲しんでいる人を「甘ったれるな」とどやしつける牧師や長老がありました。人によっては効果的な場合もありましたが、現代には通じないやり方でしょう。

八月に教会学校が幼稚園の協力を得て「夕涼み会」を催し盛況でした。教会員のみなさんの労力は申し訳ないような大きなものでしたが、ああした努力を続けていければと願っています。子どもたちに楽しんでもらい、保護者のみなさんに好印象を抱いていただく催しが定着した後で、さらに次の働きかけができるかと真の伝道につながるでしょう。

次の働きかけに進む糸口は、教会の側と外来者とが相互に善意を持ち合うことだと私は考えています。

若者向けの音楽を「目先の楽しみ」として取り入れて若者を呼び込もうとする教会があります。若者はサークルに所属感を

持ちますが、なかなか信仰にはつながりません。

夕涼み会も、ヤキトリや花火は子供にとっては「目先の楽しみ」に思えても私たちの目的は「目先の楽しみ」を提供することではありません。保護者のみなさんと善意の関係を持つことです。上下関係ではない相互関係を築くには、教会が一方的にサービスするのではないかなと思うのです。外来の方が教会で汗を流して奉仕することで、教会は初めてその人たちの居場所になります。

信仰生活は自身の罪を自覚して悔い改めることですが、それを逆に言うと、信仰生活とは、自身の本来の尊さと善意を思い出すことです。他者に対して善いことをしている時に幸せを感じるのには、クリスチャンでもそうでなくても同じです。外来者が教会で善意を発揮したくなり、教会のために献金し奉仕するようになると、表面は「教会のため」に見えます。しかし実はその人の救いにつながっています。

冒頭の聖句は、神の選民であるイスラエルが傲慢になって、社会から見放されたことを指摘する預言です。キリスト教会は世

に対して傲慢だったかもしれません。

社寺仏閣も昨今の「宗教離れ」から観光地でもなければ氏子や檀家だけでは維持できなくなりつつあります。廃業しそうなった神社に対し、ある町内会は、神社を支えようという運動を始めました。これまで境内を地域に開放し、永く人々に憩いの場を提供してきたからです。地域の人の「鎮守の森を守りたい」という思いは神道信仰ではなく、信仰が継承されたわけではありません。しかし神社のために善意を発揮する町民の中には信仰につながる敬虔感情を呼び覚まされる人もあるでしょう。その神社は未信者に助けてもらうことで彼らの善意を引き出すという素晴らしい伝道をしたのです。

信仰は自己啓発的なハウツーではありません。信仰の幸いに簡単に到達できるわけではありません。私たちに出来ることは、まず自分がじっくり時間をかけて聖書や信仰のことに親しむことです。そして周囲の人に善意を施すこと。さらにもう一つ、驕り高ぶっていないで、身を低くして積極的に地域の人に助けていただくことも大切な伝道活動です。



「いらっしゃ〜い」 焼き鳥・焼きそば・  
唐揚・フランクフルト おかわりあるよ



ここは「にじいろ食堂」  
友達や家族と楽しくお食事しました

## 園庭がいっぱいに ＝幼稚園・教会学校合同夕涼み会＝



「打ち上げ花火大成功」  
ワーオーと大歓声そして大きな拍手



「花火やるの初めてだよ」  
パパ・ママはカメラマンに

『にじいろ食堂』

・ おともだちやごがぞくと たのしくおしよ  
くじをしましょう。

・ おしよくじは、すわって、いただきましょう。

・ ゴミは、ごみばこにいれてください。

※ ようちえんのおもちゃは、つかわない  
でください。』

と、会食場の入口に張り紙がありました。

8月2日、「夏休みの夕方を、子ども達に食事  
と花火を楽しんでもらおう」という趣旨から、  
幼稚園と教会学校のご家族を招いて夕涼み会が  
実施されました。

メインディッシュは、焼きそば・焼き鳥・フ  
ランクフルト・唐揚げの4種類。24名のスタッ  
フが午前中より準備にかかり、会場設営と二  
人分を超える食事が用意されました。

4時45分、予定より少し遅れて、青木恵美姉  
の祈りにより夕涼み会が開始されました。

「お食事は、おひとり様それぞれ一つずつです。  
おかわりをして結構です。但し家へのお持ち  
帰りはご遠慮ください。どうぞご自由にお取り  
ください。」

「飲み物貰っていいですか?」

「どうぞどうぞ、好きな物をお取りください。こ  
ども用プールには、アップルとオレンジジュ  
ースそしてウーロン茶が、冷たい水に浸かって

いました。

にじいろ食堂（二か所設置）では、一つのテーブルを複数のご家族の方が囲み、談笑をしながら本日の作りたてディッシュを楽しんでいました。

幼稚園の先生に、「たくさんの方が申し込まれましたね。」とお聞きすると、

「私達もこんなに沢山のご家族が申し込まれたのには驚いています。食事もですが、火花が魅力みたいですね。火花は初めてという子が多いですね。自宅ではなかなかできない環境のようですよ。」

火花は、クラス毎に行いました。

一人ひとりが手持ち火花に火をつけて遊びました。火をつける時は、緊張のせいか顔が固くなっていましたが、火花がパチパチと勢いを増すにつれて笑顔へと変化して行きました。付き添いのパパさんは撮影に大忙し、良い写真が撮れたでしょうか。

最終ランドは高校生のお姉さんの噴出し火花。滝のように激しく流れる火花に「ワオー」と大歓声、そして皆さんから大きな拍手が園庭中に響きました。

牧師先生のお祈りで、お腹一杯・楽しさ一杯の夕涼み会は終了しました。

コロナ後の大きなイベントでした。

## 平塚教会で開かれる

### 研修会・講演会の案内

#### グリーフケア入門講座

日時 2024年9月22日（日）

12時30分より

講師 佐藤 章子 先生

演題 グリーフケアとは？※

当教会では、9月29日よりグリーフケアの会（仮称「ふたばカフェ」）を開くこととしました。開催の前に、「グリーフケアとは何か」を、ご経験豊かな講師をお招きして、お話をお聞きすることにしました。教会員以外の方でも参加することが出来ます。

※グリーフケアとは、簡単に言うと、死別の悲しみを抱える遺族をサポートすること。「grief（グリーフ）」は、「悲嘆」や「深い悲しみ」を意味する英単語で、とくに愛する人と死別した悲しみを指します。「grief（悲嘆）」を「care（世話）」するグリーフケアは、「遺族ケア」や「悲嘆ケア」とも呼ばれています。

ヤフー検索より

## 神奈川教区西地区信徒研修会

日時 2024年11月17日（日）

14時30分より

講師 石丸 昌彦 先生

（精神科医 放送大学教授）

演題 「未定」

※信徒研修会は、礼拝と講演、そして分団協議より構成されています。

昨年度は、石丸昌彦先生より「祝福とライフサイクル」をテーマにお話を伺いました。今年度は、石丸昌彦先生のご講演が非常に好評であったため、引き続きお話をお伺いすることとしました。

石丸昌彦先生は、分団協議の後の報告まで出席されるとのこと。よき学びの一日を共に過ごしませんか。

### 「編集後祈」

長い間のコロナ禍を経て、教会学校と幼稚園合同で大きな交わりの夕涼み会が行われました。ご奉仕してくださった皆様・参加してくださった皆様、そして、この日を恵み豊かに支え、祝福してくださった神様に感謝いたします。

（編集子）